

# The logo for FULLCAST HLDGS. features the word 'FULLCAST' in a large, bold, black sans-serif font with a small orange circle above the 'F'. Below it, 'HLDGS.' is written in a smaller, bold, black sans-serif font.

## 2024年12月期 第1四半期決算説明資料

2024年5月10日

株式会社フルキャストホールディングス

- 1 FY2024 1Q連結業績(2024年1月～3月)
- 2 FY2024 1Qセグメント業績(2024年1月～3月)
- 3 FY2024 1Q業績予想進捗
- 4 子会社等の異動を伴う株式の譲渡

**FY2024**  
**1Q連結業績**  
**(2024年1月~3月)**

# 連結 FY2024 1Q前年同期比較

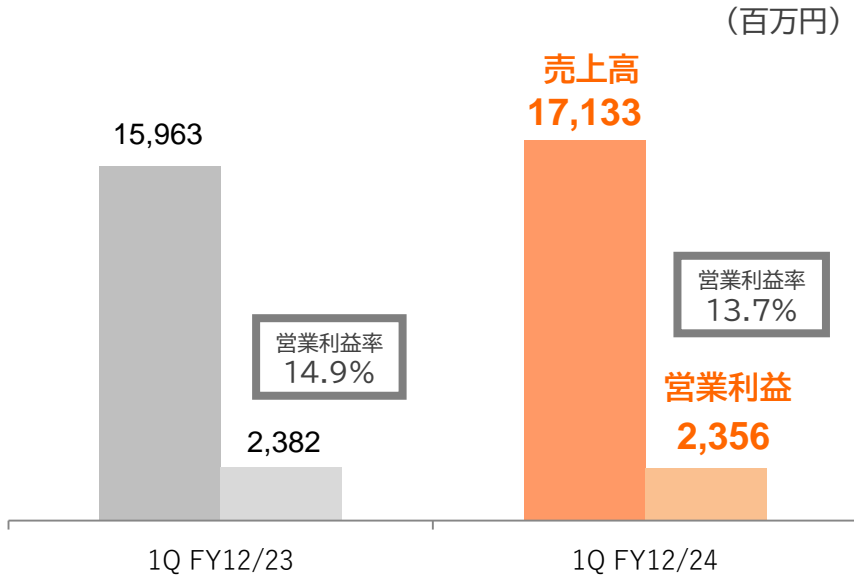
飲食事業の損益を取り込んだこと等により、**売上高は前年同期比7.3%の増収**となりました。

増収したことに対し、コロナ禍からの脱却による経済社会活動の活性化に伴う顧客需要の拡大を取り込むことで、短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「BPO」を伸ばせたものの、想定通り、コロナ禍特需及びマイナンバー関連特需が剥落したこと等により、**営業利益は前年同期比1.1%の減益(営業利益率は1.2PTの低下)**となりました。

飲食事業、コロナ関連業務及びマイナンバー関連業務の影響を控除したオーガニックの売上総利益は、前年同期実績を超過しております。

当第1四半期会計期間においては、今期の業績予想に織り込んだ戦略的投資に係る費用の発生は軽微です。

**売上高 +7.3%**      **営業利益  $\Delta$ 1.1%**



# 連結 FY2024 1Q前年同期比較

営業利益同様の要因により、**経常利益は前年同期比2.5%の減益**となりました。

当第1四半期会計期間において、連結子会社である(株)BOD株式を譲渡したことに伴う子会社株式売却益1,295百万円を特別利益に計上したこと等により、**親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比39.5%の増益**となりました。

	FY2023 1Q	FY2024 1Q	増減額	増減率
売上高	15,963	<b>17,133</b>	1,170	7.3%
売上総利益	5,255	<b>6,319</b>	1,065	20.3%
販管費	2,872	<b>3,963</b>	1,091	38.0%
営業利益	2,382	<b>2,356</b>	△26	△1.1%
営業利益率	14.9%	<b>13.7%</b>	—	△1.2PT
経常利益	2,393	<b>2,332</b>	△61	△2.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,578	<b>2,202</b>	624	39.5%

(百万円)

**FY2024**  
**1Qセグメント業績**  
**(2024年1月～3月)**

# 短期 FY2024 1Q前年同期比較

コロナ禍からの脱却による経済社会活動の活性化に伴う顧客需要の拡大を取り込むことで、短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「BPO」を伸ばせたものの、想定通り、コロナ禍特需及びマイナンバー関連特需が剥落したこと等により、**売上高は前年同期比4.8%の減収**となりました。

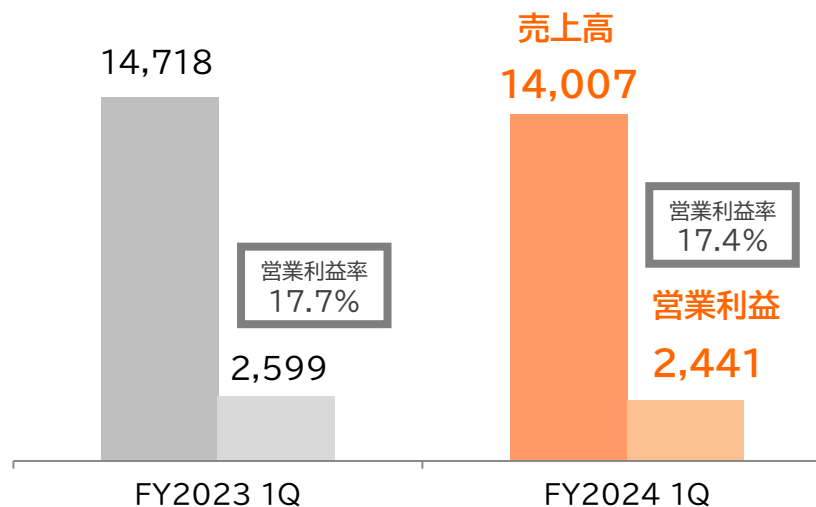
減収したことを主因として、**営業利益は前年同期比6.1%の減益**(営業利益率は0.2PTの低下)となりました。

コロナ関連業務及びマイナンバー関連業務の影響を控除したオーガニックの売上総利益は、前年同期実績を超過しております。

売上高  
**△4.8%**

営業利益  
**△6.1%**

(百万円)



# 短期 FY2024 1Q前年同期比較 (サービス区分別)

## [紹介、BPO]

リオープニングに係る顧客需要を取り込んだことで、主力サービスの「紹介」及び「BPO」が売上総利益増益となりました。

## [派遣]

コロナ関連業務に係る官公庁案件が剥落したことを主因として、「派遣」が前年同期比7.3%の減収、売上総利益は前年同期比3.5%の減益となりました。

## [請負]

コロナ関連業務及びマイナンバー関連業務に係る官公庁案件が剥落したことを主因として、「請負」が減収、且つ、売上総利益減益となりました。なお、これらの影響を除いた「請負」の売上総利益は前年同期同等の水準となっております。

(百万円)

		FY2023 1Q	FY2024 1Q	増減額	増減率
売上高		14,718	<b>14,007</b>	△710	△4.8%
	紹介	1,581	<b>2,016</b>	435	27.5%
	BPO	2,569	<b>2,536</b>	△33	△1.3%
	派遣	8,553	<b>7,927</b>	△626	△7.3%
	請負	2,015	<b>1,529</b>	△486	△24.1%
売上総利益		4,948	<b>5,096</b>	148	3.0%
	紹介	1,545	<b>1,968</b>	423	27.4%
	BPO	1,757	<b>1,789</b>	33	1.9%
	派遣	897	<b>865</b>	△32	△3.5%
	請負	749	<b>473</b>	△276	△36.8%

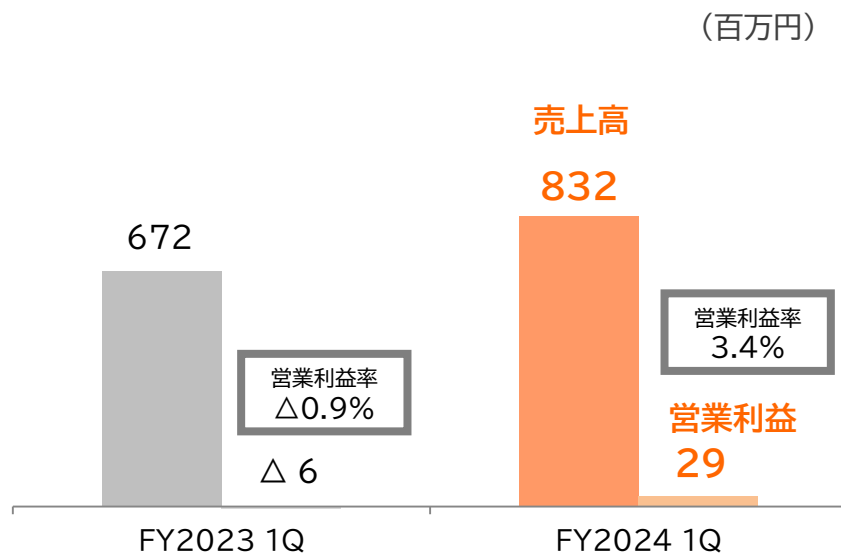


# 営業 FY2024 1Q前年同期比較

主たる事業内容であるインターネット回線販売事業において、代理店網を活用した通信商材の販売が好調であったこと等に伴い、**売上高は前年同期比23.9%の増収**となりました。

増収したことに伴い、**営業利益は前年同期比35百万円の増益**となりました。

**売上高 +23.9%**      **営業利益 +35百万円**



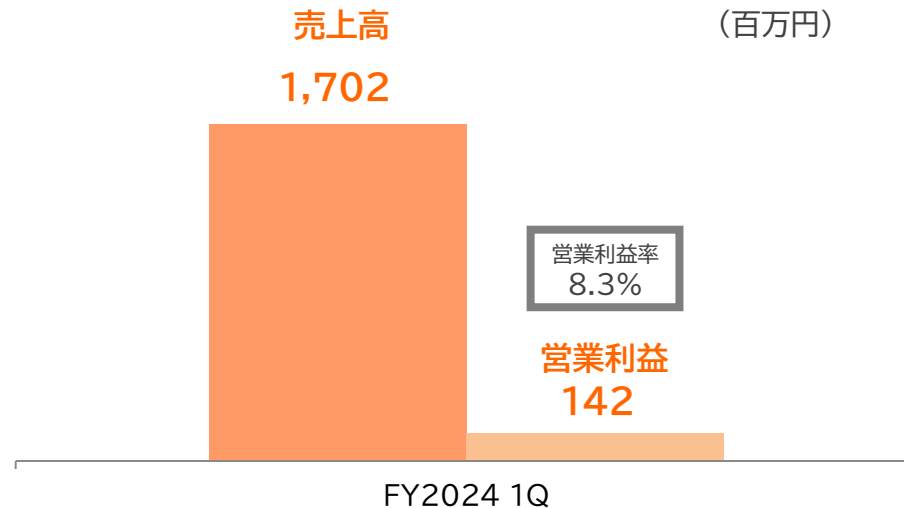
# 飲食 FY2024 1Q業績

国内事業における需要の回復動向が続いたことで**売上高は1,702百万円**となりました。

売上高を1,702百万円計上したこと及び販管費の削減効果により、**営業利益は142百万円**となりました。

営業時間の延長、一部店舗のリニューアルやメニュー改定等の取組みを継続して実施しております。

※ 前期実績を開示していないため、2024年12月期第1四半期実績のみ、記載しております。



# 警備・その他

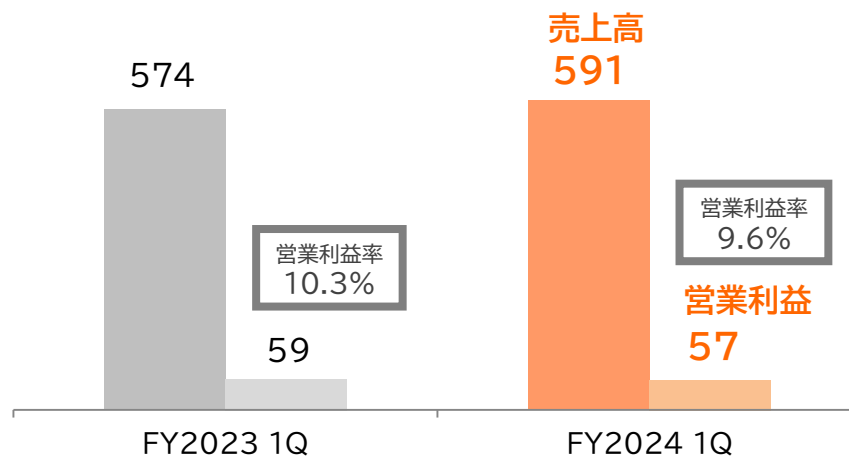
## FY2024 1Q前年同期比較

主として、コロナ関連業務に係る臨時警備案件が剥落した一方で、常駐警備案件を獲得できたことで売上高は前年同期比3.0%の増収となりました。

増収したものの、前年同期は比較的高粗利なコロナ関連業務に係る臨時警備案件を獲得できていたこと等を主因として、営業利益は前年同期比4.3%の減益（営業利益率は0.7PTの低下）となりました。

売上高 +3.0% 営業利益  $\Delta$ 4.3%

(百万円)



# FY2024 1Q業績予想進捗

# 連結 FY2024 1Q業績予想進捗

連結業績は、主力事業である短期業務支援事業を中心に、期初に想定した前提条件の通り順調に推移しております。

当第1四半期連結会計期間業績は業績予想の修正を要しない水準で推移していること、また、第2四半期以降で戦略的投資の費用が発生することから、第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想の修正は行いません。

(百万円)

		FY2024 1Q実績	FY2024 2Q累計予想	進捗率	FY2024 通期予想	進捗率
売上高		17,133	34,756	49.3%	70,500	24.3%
売上総利益		6,319	12,292	51.4%	25,030	25.2%
営業利益		2,356	4,200	56.1%	7,200	32.7%
経常利益		2,332	4,202	55.5%	7,233	32.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		2,202	2,906	75.8%	5,045	43.7%
短期業務支援事業	売上高	14,007	—	—	58,565	23.9%
	紹介	2,016	—	—	8,695	23.2%
	BPO	2,536	—	—	6,976	36.3%
	派遣	7,927	—	—	35,493	22.3%
	請負	1,529	—	—	7,402	20.7%
営業支援事業	売上高	832	—	—	3,121	26.7%
飲食事業	売上高	1,702	—	—	6,428	26.5%
警備・その他事業	売上高	591	—	—	2,387	24.8%

# 子会社等の異動を伴う 株式の譲渡

# 子会社等の異動を伴う株式の譲渡

## ➤ (株)BOD株式の譲渡

### (1) 株式譲渡の理由

当社グループの連結経営方針や収支計画等に左右されることなく迅速な意思決定により事業を進めていくことが同社の更なる企業価値向上に資すると判断したため。

### (2) 株式譲渡の相手先の名称 (株)BOD POWER

### (3) 株式譲渡の時期 2024年3月29日

### (4) 当該子会社の概要 (株)BOD及び以下の(株)BOD子会社 (株)HRマネジメント／(株)プロGRESS／(株)BPC

### (5) 譲渡する株式の数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

① 譲渡株式数 255株

② 譲渡価額 1,963.5百万円

③ 譲渡後の持分比率 -%

### (6) 実施する会計処理の概要

譲渡対象会社の連結上の帳簿価額と譲渡価額の差額1,295百万円を特別利益に計上します。  
2024年12月期第1四半期連結決算上、(株)BOD等の実績は計上されています。

### ■資本政策の基本的な方針

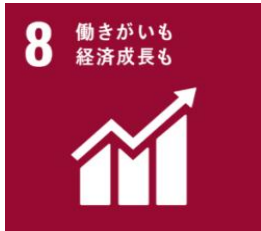
当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元の目標を総還元性向50%としております。
- ROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上限1.0倍としております。



# (参考)サステナビリティ方針

当社はSDGsの17の目標に対して賛同します。  
また、当社の企業理念である、「すべての人をいちばん輝ける場所へ。」を実現していくことで、以下のSDGsの各目標に貢献することを当社の重要課題(マテリアリティ)ととらえております。



## 8. 働きがいも経済成長も

当社グループは、短期間のマッチング機会を就業希望者、雇用希望企業双方に提供し続けることにより、就業希望者における就業機会及び雇用希望企業における労働力を提供し続けます。  
このことにより、就業希望者における働きがいと雇用希望企業における経済成長に貢献してまいります。



## 5. ジェンダー平等を実現しよう

年齢、性別、属性にとらわれない就業機会を就業希望者に提供することで、ジェンダー平等の実現に貢献してまいります。



## 10. 人や国の不平等をなくそう

国内全域の、かつ、国籍にとらわれない、就業機会を就業希望者に提供することで、人や国の不平等をなくすことに貢献してまいります。



## 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

労働力人口が減少していく、国内の労働環境に対して、当社が、短期間のマッチングサービスを、成長ないしは革新を目指す企業に提供し、必要な労働力を充足させることにより、産業の成長と技術革新の基盤づくりに貢献してまいります。

# (参考)グループ企業一覧

**FULLCAST HLDGS.** (株)フルキャスト  
ホールディングス

グループ全体の資源・戦略の最適化ならびにグループ各社の事業運営の指導

**FULLCAST BUSINESS SUPPORT** (株)フルキャスト  
ビジネスサポート

グループ内各種業務を集約して業務を代行

**FULLCAST** (株)フルキャスト

さまざまな事業分野に対する短期人材サービス

**TOP SPOT** (株)トップスポット

地域密着型ブランド、特定地域に特化した短期人材サービス

**FULLCAST ADVANCE** (株)フルキャストアドバンス

施工、営繕、イベントの企画・運営等の業務請負ならびに受付案内業務における人材サービス及び、常駐・雑踏警備および交通警備等の警備業

**Work & Smile** (株)ワークアンドスマイル

さまざまな業界・業種で発生する人材ニーズに対し、首都圏を中心に“迅速”で“確実”なサービスを展開

**FULLCAST SENIOR WORKS** (株)フルキャスト  
シニアワークス

首都圏(一都三県)に特化した、アクティブシニアを対象とした人材サービス

**FULLCAST PORTER** (株)フルキャストポーター

ドライバーに専門特化した人材サービス

**おてっだい networks** (株)おてっだいネットワークス

位置情報を活用した短期人材サービス「おてっだいネットワークス」の運営

**FULLCAST GLOBAL** (株)フルキャストグローバル

外国人を中心とした人材サービスを展開

**FULLCAST INTERNATIONAL** (株)フルキャスト  
インターナショナル

即戦力となる特定技能ビザの外国人を紹介する人材紹介サービスを展開

**Minimaid Service**  
since 1983

ミニメイド・サービス(株)

家事代行サービスを展開

**hayfield**

(株)ハイフィールド

不動産業界特化型の人材紹介業

**Imple**

App X(株)  
(株)インプリ  
(株)リリースベース

求人検索アプリサービス、ソフトウェア開発

**F-PLAIN**

(株)エフプレイン

**M's LINE**

(株)エムズライン

代理店網やコールセンターを活用したIT通信商材の販売代理業務等

**FSP**

(株)FSP

**GLOBEAT JAPAN** グロービート・ジャパン株式会社

グロービート・ジャパン(株)

飲食チェーン事業

**株式会社ビート**

(株)ビート

業務請負を主とする人材総合アウトソーシングサービス

**Deli Art**

(株)デリ・アート

人材アウトソーシング事業

**Advancer Global** 前進集団

Advancer Global Limited

東南アジアを中心とした外国人労働者の人材サービス

# 免責事項

- Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

## 注記事項

### <当資料について>

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、営業支援事業を「営業」、飲食事業を「飲食」、警備・その他事業を「警備・その他」と一部で記載しております。
- 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」及び(株)ヘイフィールドの不動産業界特化型の人材紹介サービス並びにApp X(株)グループの求人検索アプリサービスを「紹介」、「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに(株)BODグループのバックオフィス系BPOサービスを「BPO」と、各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上の「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。

### <短期業務支援事業について>

- 「BPO」サービスは「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに(株)BODグループのバックオフィス系BPOサービスを合算しております。
- 短期業務支援事業セグメントにおけるサービス区分別の数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

### <営業支援事業について>

- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」、「アライアンス事業」及び「エンターテイメント事業」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。

### <飲食事業について>

- 2023年12月期第2四半期連結会計期間において「飲食事業」セグメントを新設しております。なお、2024年12月期第1四半期においては、比較対象となる前年実績がないことから、前期比較は行わず、実績のみを開示しております。

### <2024年12月期業績予想について>

- セグメント別売上高の第2四半期累計期間業績予想は開示しておりません。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。

【お問い合わせ先】

IR課 : 03 - 4530 - 4830

URL : <https://www.fullcastholdings.co.jp/corporate/ir/>

Email : [IR@fullcast.co.jp](mailto:IR@fullcast.co.jp)